

医療「改革」法案の撤回と医療の充実を求める請願

衆議院議長 殿

参議院議長 殿

請願趣旨

小泉内閣が提出した医療「改革」法案は、①高齢者窓口負担の2割・3割への引き上げ、入院費・重症患者の負担増、保険料の引き上げ、ベッド削減による病院からの追い出し、②「混合診療」の拡大など、公的保険のきく範囲を切り縮めて公的医療制度、国民皆保険の解体に道をひらく、という医療の大改悪です。

保険のきかない医療がひろがれば、必要な医療を受けるのにも多額の自費負担が強いられることになります。これは、医療に格差をもちこみ、「人の命も金次第」とするものです。この医療「改革」法案は、医療への国の責任を後退させ、民間保険の売り込みなど、医療分野を新しいもうけ口にしようとする日米財界の要求にこたえるものです。

社会保障の増進に努めることは政府の責任です（憲法25条）。私たちは、医療「改革」法案を撤回し、「保険証一枚」で、だれでも、どんな病気でも、安心して受けられる医療を実現するよう要求します。

請願事項

1. 高齢者・重症患者の窓口負担増、保険料の引き上げ、病院追い出しをやめ、窓口負担を引き下げること。
1. 「混合診療」の拡大など保険診療をせばめるのではなく、充実させること。
1. 削減されてきた国庫負担を計画的に元にもどすこと。

氏 名	住 所

取扱団体　日本共産党